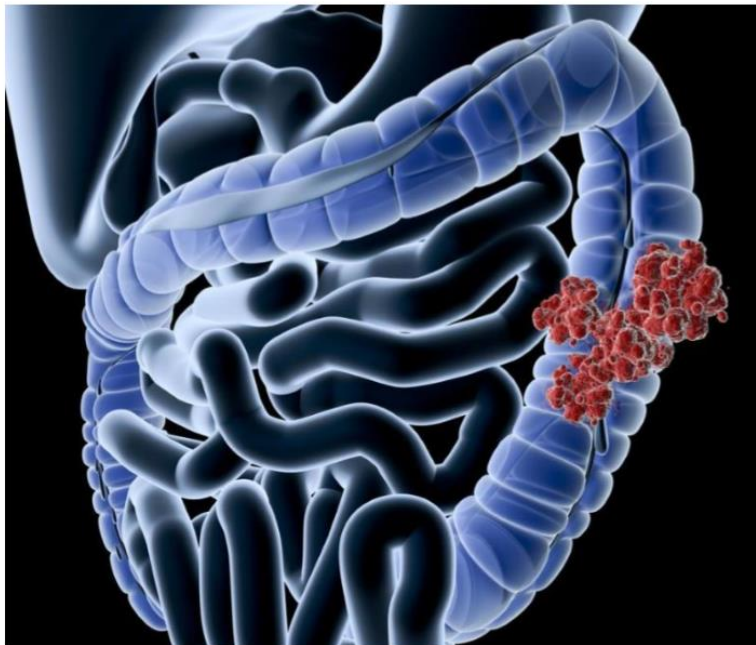


大腸内視鏡検査：症状発現前の 大腸がん検出は予後良好

大腸内視鏡検査により、原発性大腸がんと診断され手術を受けた 1809 例の調査結果が、Surg Endosc 誌に報告されました。



症状発現後に大腸内視鏡検査を施行した群では、症状発現前に施行した群と比べて、がんが進行しており（AJCC 分類I期の割合 15% vs 53%）、その後の生存率も低い結果となりました（ $P < 0.001$ ）。



大腸内視鏡検査により助かる命がたく
さんあります。

